

千葉県立病院運営懇談会

平成22年11月12日(金)

千葉市生涯学習センター 3階 大研修室

1 千葉県立病院改革プラン

(1) プラン概要

(2) 21年度収支計画と実績

(3) 21年度実績の主なポイント

2 これまでの主な費用削減の取組み

(1) 材料費の縮減

(2) 経費の縮減

(3) 医療機器購入費の縮減

3 平成22年度上半期の状況(収益)

(1) 平成22年度診療報酬改定

(2) 県立病院における影響

(3) 上半期の医業収益の前年度比較

1 千葉県立病院改革プラン (H21年3月策定)

(1) 改革プラン概要

① **経営の効率化に係る計画** ⇒ 収入確保策や経費削減策、民間的経営手法の導入、施設整備等を記載

各病院の収支計画

(単位:百万円)

病院名	がん	救急	精神	こども	循環器	東金	佐原	小計	経営管理課	合計
23年度	569	214	207	169	△375	△367	△162	255	△709	△454
					(26年度) 156		(24年度) 6			(25年度) 173

※ 7病院合計で **23年度に 2億5500万円の黒字化** 予定

※ 病院局全体(経営管理課含む)で **25年度に 1億7300万円の黒字化** 予定 (金額は消費税込み)

② **再編・ネットワーク化** 東金病院:東金市、九十九里町による地域医療センター開設時(26年4月予定)に引継予定
⇒ 佐原病院:国保小見川総合病院との再編・ネットワーク化について、今後協議予定

③ **経営形態の見直し** ⇒ 非公務員型の独立行政法人などへの移行について課題等の整理を行い、経営形態の見直しについて検討

改革プランの収支計画(収益的収支)

単位:百万円

区分		21年度計画	22年度計画	23年度計画
収益	医業収益	28,492	28,840	29,430
	(入院収益)	20,275	20,454	20,914
	(外来収益)	7,803	7,988	8,118
	医業外収益	9,845	9,808	10,207
	経常収益	38,337	38,648	39,637
費用	医業費用	38,989	38,665	39,101
	(職員給与費)	20,015	19,959	20,358
	(材料費)	9,382	9,461	9,568
	医業外費用	1,044	1,000	990
	経常費用	40,032	39,664	40,091
経常損益		△1,696	△1,017	△454

(2)21年度収支計画と実績

単位:百万円

区分		計画 ①	実績 ②	差引 ②-①
収益	医業収益	28,492	28,304	△188
	(入院収益)	20,275	19,341	△934
	(外来収益)	7,803	8,567	764
	医業外収益	9,845	10,157	312
	経常収益	38,337	38,460	123
費用	医業費用	38,989	38,160	△829
	(職員給与費)	20,015	19,636	△379
	(材料費)	9,382	9,747	365
	医業外費用	1,044	1,071	27
	経常費用	40,032	39,232	△800
経常損益		△1,696	△771	925

収益の詳細

単位：百万円

区分		計画 ①	実績 ②	差引 ②-①
収益	医業収益	28,492	28,304	△188
	入院収益	20,275	19,341	△934
	外来収益	7,803	8,567	764
	その他	414	395	△19
	医業外収益	9,845	10,157	312
	他会計負担金	9,560	9,687	127
	国(県)補助金	72	89	17
	その他	213	381	168
	経常収益	38,337	38,460	123

費用の詳細

単位：百万円

区分		計画 ①	実績 ②	差引 ②-①
費用	医業費用	38,989	38,160	△829
	職員給与費	20,015	19,636	△379
	材料費	9,382	9,747	365
	経費	6,772	6,025	△747
	減価償却費	2,609	2,571	△38
	その他	211	181	△30
	医業外費用	1,044	1,071	27
	支払利息	665	617	△48
	その他	379	454	75
	経常費用	40,032	39,232	△800
経常損益		△1,696	△771	925

病院別収支計画と実績(経常損益)

単位:百万円

病院名	計画 ①	実績 ②	差引 ②-①
がんセンター	358	316	△42
救急医療センター	114	265	151
精神科医療センター	211	274	63
こども病院	61	531	470
循環器病センター	△749	△855	△106
東金病院	△516	△392	124
佐原病院	△444	△383	61
病院計	△965	△243	722

(3) 21年度実績の主なポイント(収益)

ア 入院収益

○21年度計画 20,275百万円 → 実績 19,341百万円

・計画に対して △934百万円

・入院患者数・入院単価ともに計画に満たなかった。

延入院患者数(7病院計) 計画 352,010人 → 実績 339,094人 △12,916人

入院単価(7病院平均) 計画 57,598円 → 実績 57,037円 △561円

イ 外来収益

○21年度計画 7,803百万円 → 実績 8,567百万円

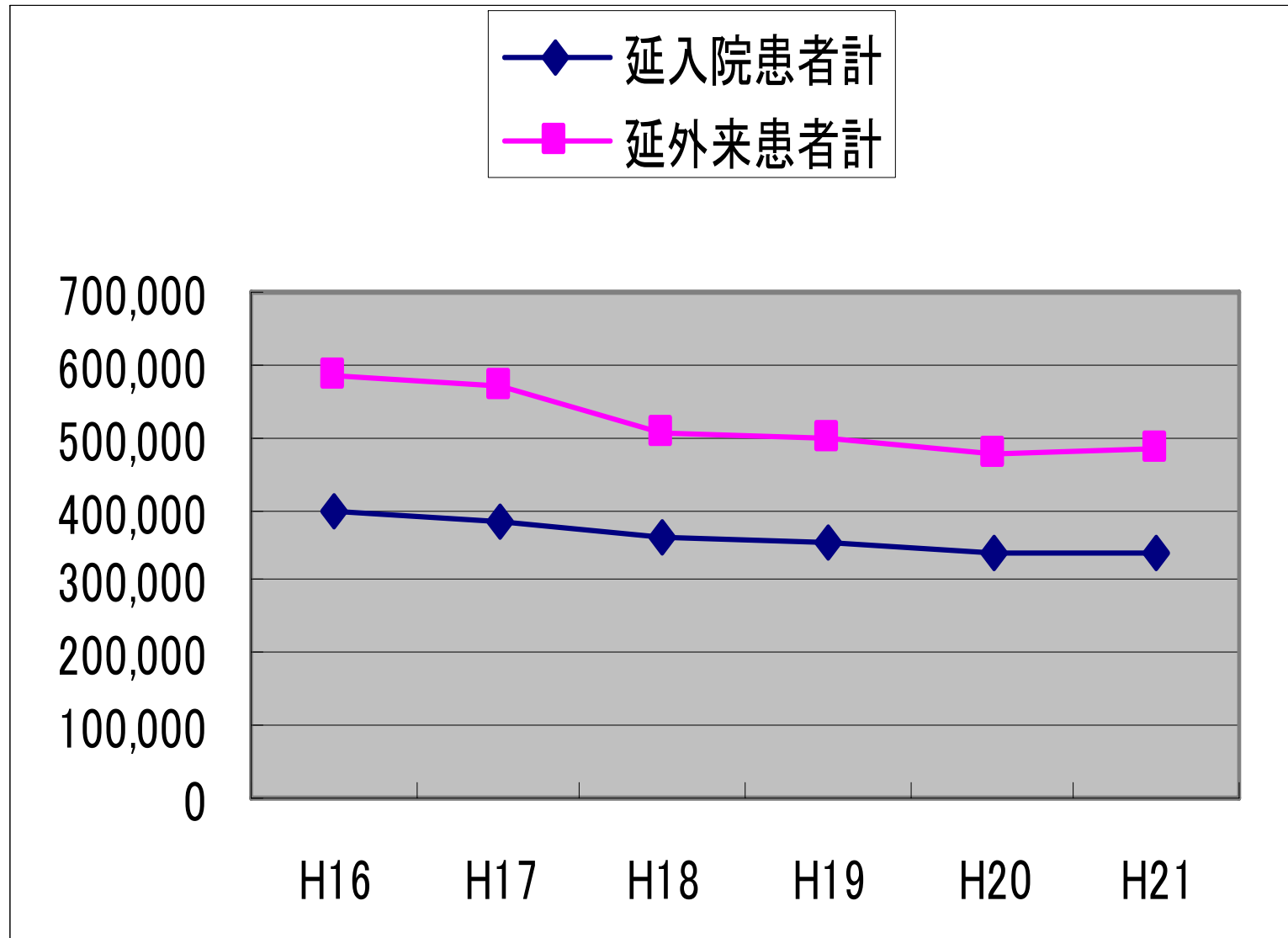
・計画に対して +764百万円

・外来患者数は計画に満たなかったものの、一人当たり単価の伸びが大きかったため、計画を上回った。

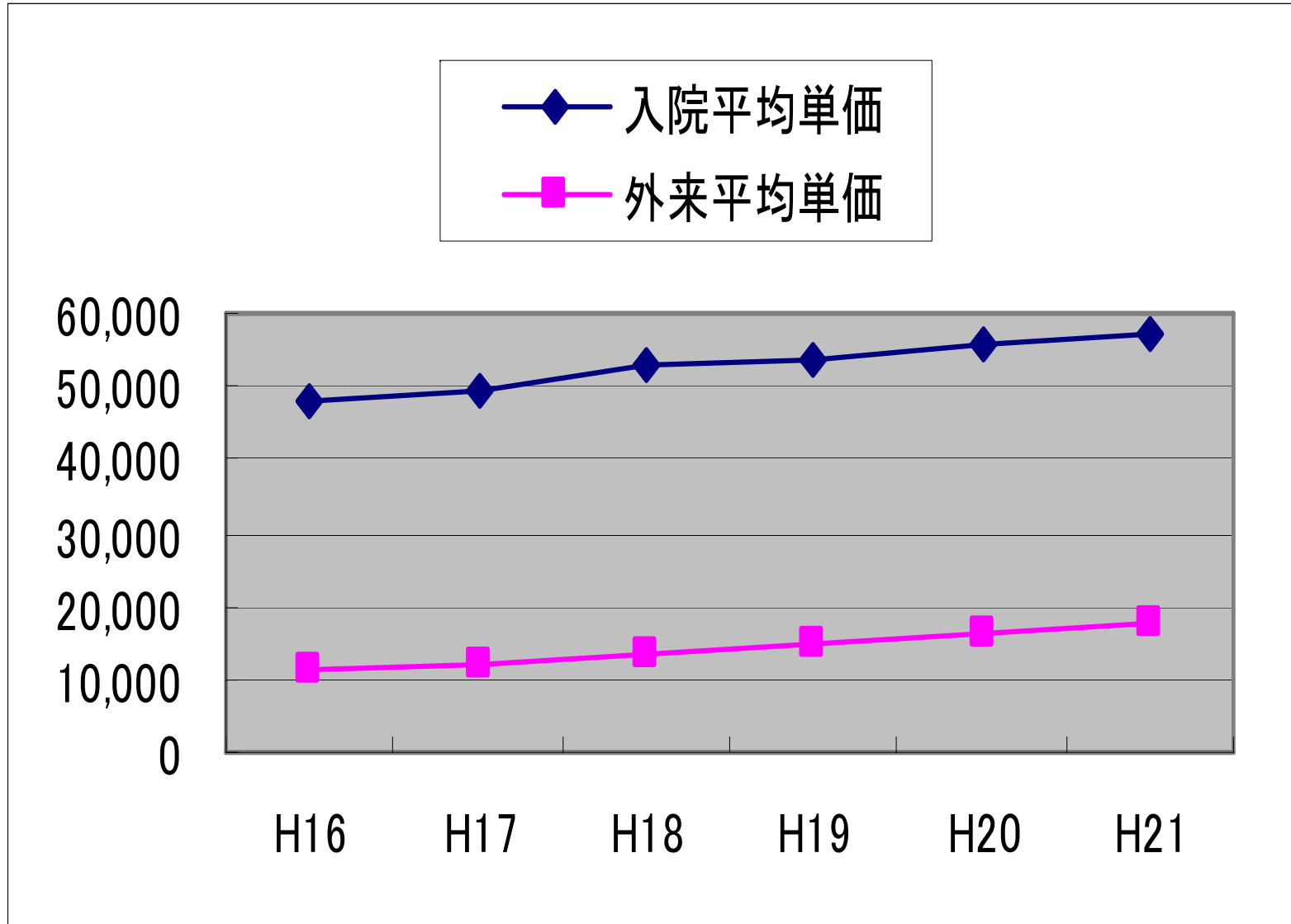
延外来患者数(7病院計) 計画 489,061人 → 実績 484,022人 △5,039人

外来単価(7病院平均) 計画 15,957円 → 実績 17,700円 +1,743円

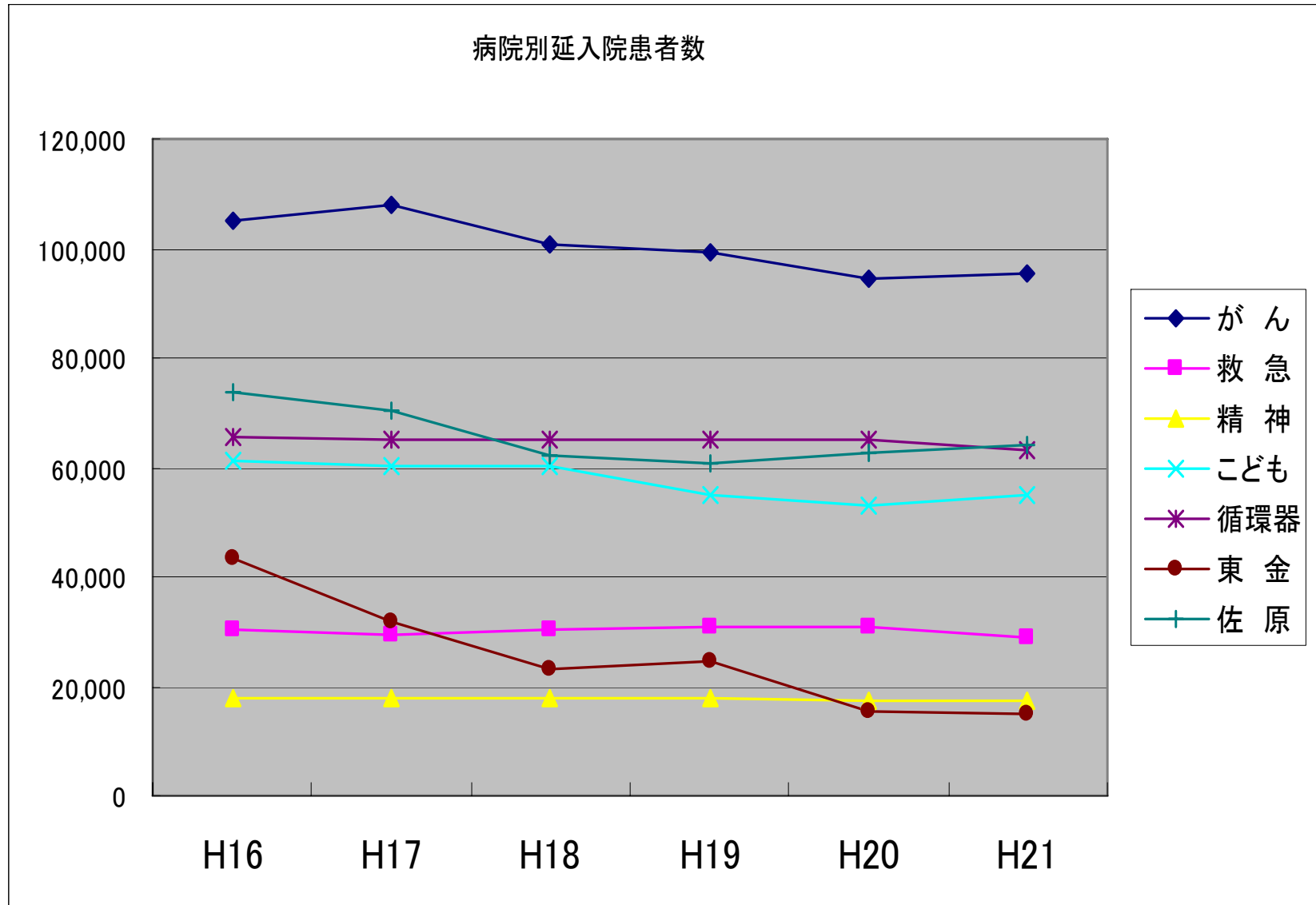
平成16年度からの推移(延入院患者数・延外来患者数)



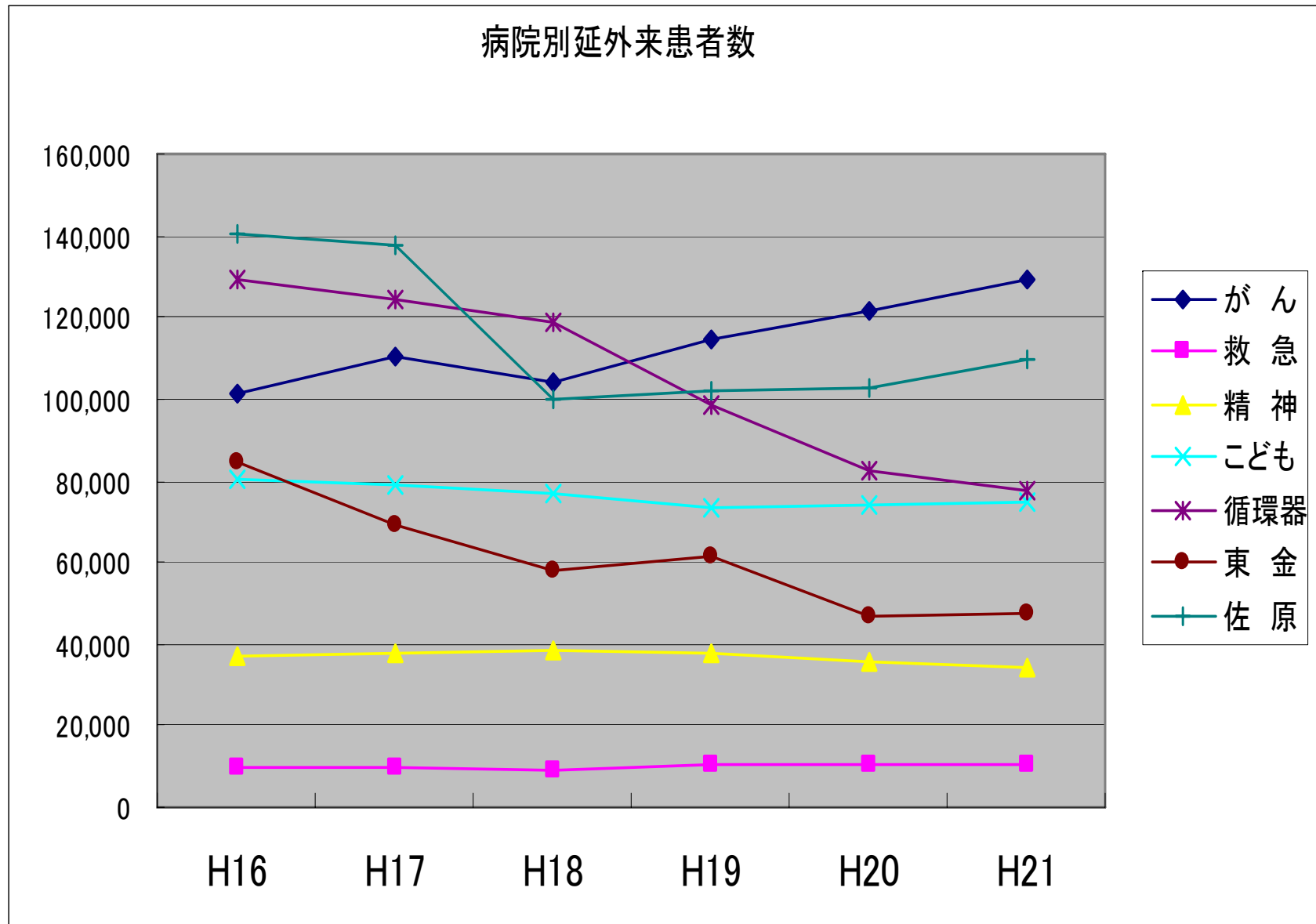
平成16年度からの推移(入院単価・外来単価)



平成16年度からの推移(病院別延入院患者数)



平成16年度からの推移(病院別延外来患者数)



21年度実績の主なポイント(費用)

ウ 職員給与費

○21年度計画 20,015百万円 → 実績 19,636百万円

- ・計画に対して △379百万円
- ・医師の給与改善等の増加要因はあるが、給与の減額措置やマイナス改定による減が上回った。

エ 材料費

○21年度計画 9,382百万円 → 実績 9,747百万円

- ・計画に対して +365百万円
- ・薬品及び診療材料の共同購入に取り組んでいるが、がんセンター、こども病院等における薬品費等の増加により、計画を達成できなかった。

才 経費

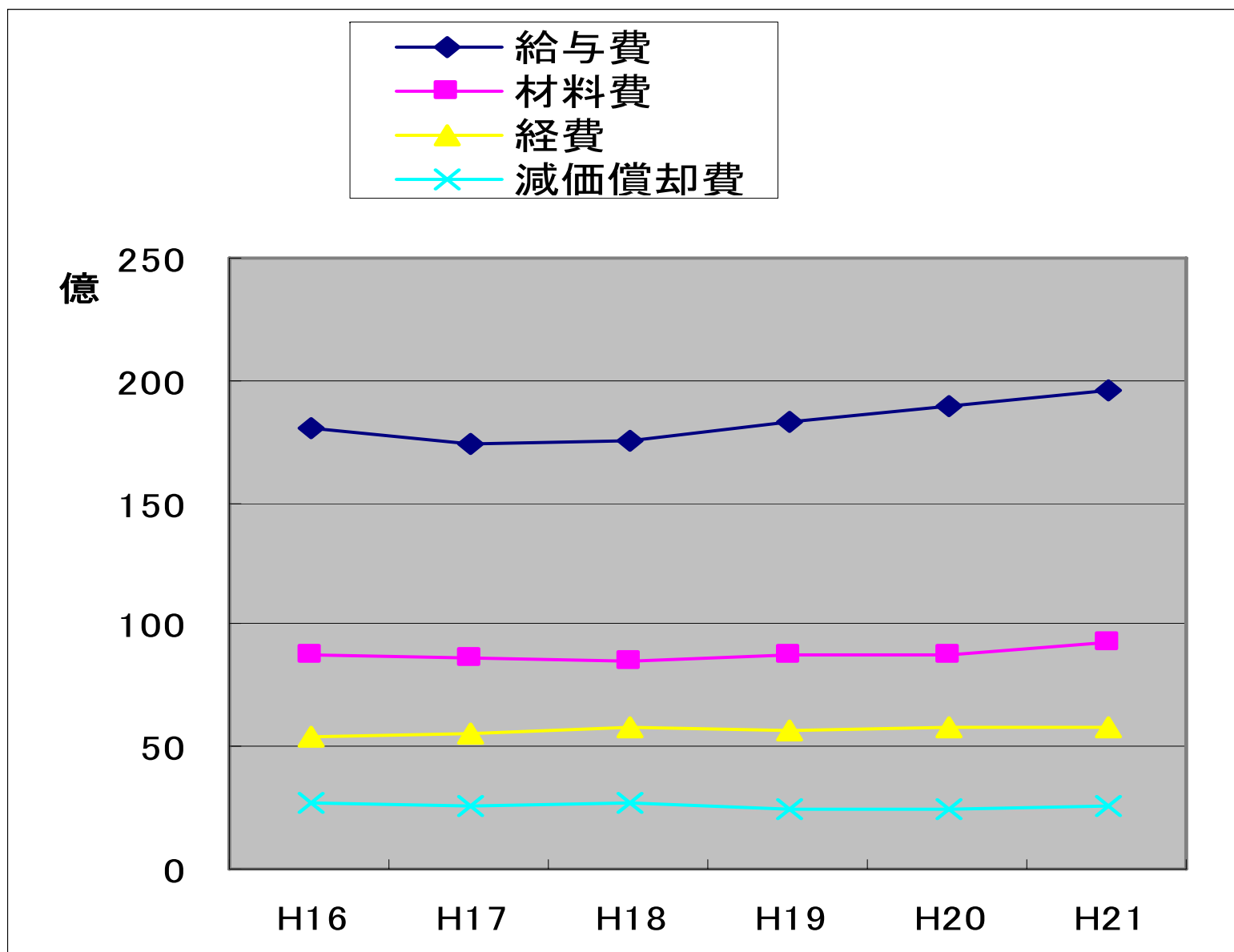
○21年度計画 6,772百万円 実績 6,025百万円

- ・計画に対して △747百万円
- ・委託料、光熱水費、リース料(賃借料)等の減少により、計画を達成した。

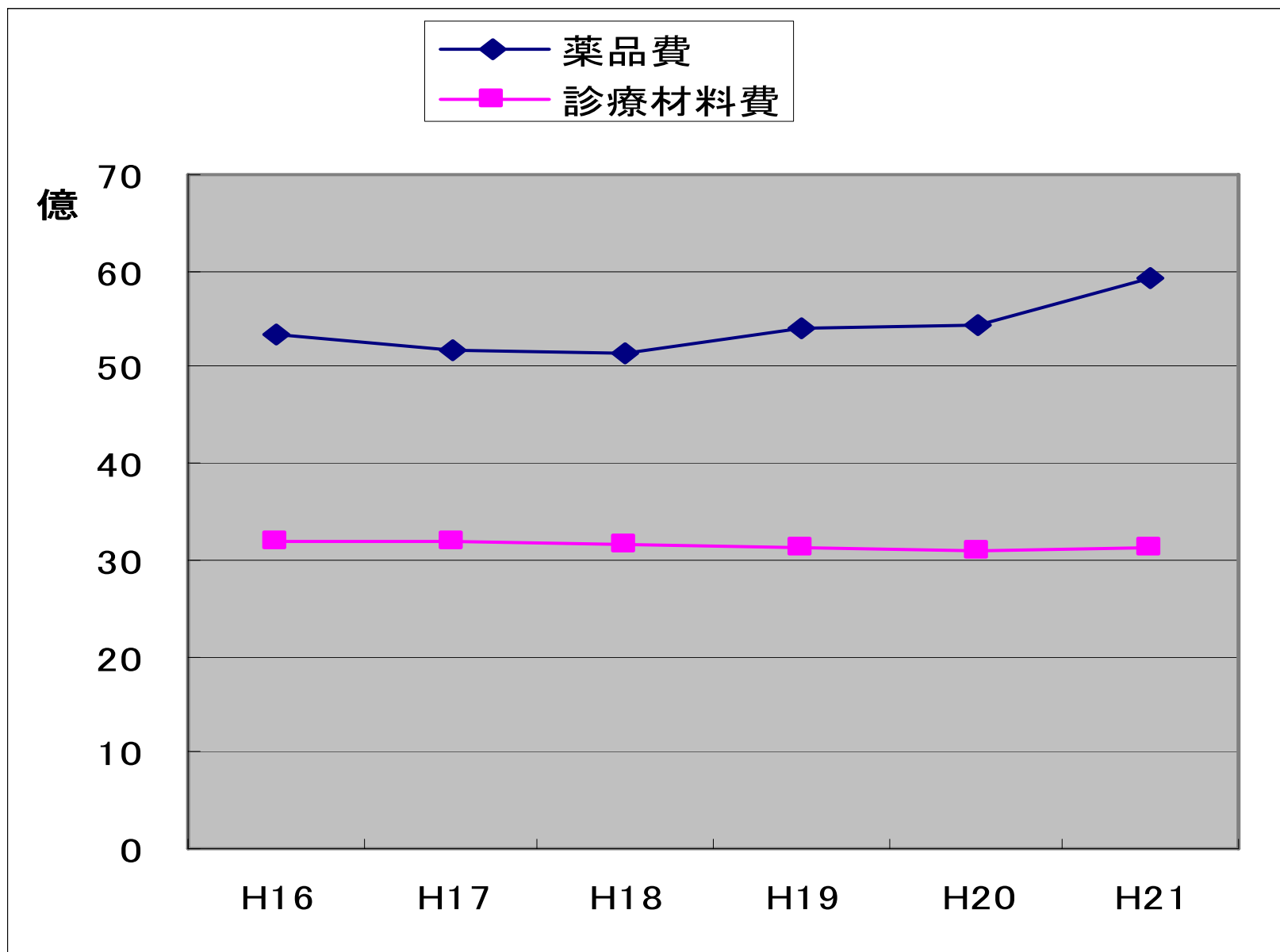
委託料 建物管理委託料
エレベーター保守委託料等の減少
△326百万円

光熱水費 電気料金等の減少 △132百万円
賃借料 電算システムリース料等の減少
△128百万円

平成16年度からの推移(給与費・材料費・経費・減価償却費)



平成16年度からの推移(薬品費・診療材料費)



カ 主な指標

- 経常収支比率 21年度計画 95.8% ⇒ 実績 98.0%
- 医業収支比率 21年度計画 73.1% ⇒ 実績 74.2%
- 職員給与比率 21年度計画 70.3% ⇒ 実績 69.4%

・いずれも計画を達成した。

指標の推移

単位：%

	18年度 実績	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 計画	23年度 計画
経常収支比率	94.8	96.1	96.7	98.0	97.4	98.9
医業収支比率	73.6	73.8	73.4	74.2	74.6	75.3
職員給与比率	67.5	68.4	70.0	69.4	69.2	69.2

2 これまでの主な費用削減の取組み

(1) 材料費の縮減

○ 薬品の共同購入

- ・平成14年度下期分から共同購入実施



- ・平成20年度・・・薬価差益額 499百万円(一般薬)



- ・平成21年度・・・薬価差益額 605百万円(一般薬)



- ・平成22年度(上半期)・・・薬価差益額 310百万円(一般薬)
(下半期)・・・薬価差益額 343百万円(一般薬)

他県の状況を踏まえ、上半期と下半期に分けて共同購入を実施
半年分の購入予定額に対する参考見積を対象業者(5社)から取り、
値引率の高い3社を指名対象とする。

○ 診療材料の共同購入

- ・平成14年度からシリンジ(注射筒)について共同購入実施



- ・平成18年度・・・7病院の購入額上位卸9社について、本課
で一括価格交渉 △140百万円



- ・平成19年度・・・コンサルと連携した購入額削減の取組み △117百万円



- ・平成21年度・・・共同購入を7品目に拡大
吸引カテーテル、マスク、手術用ガウン等 △4.6百万円

救急医療センター、循環器病センターに
おけるペースメーカー購入額の削減



- ・平成22年度・・・共同購入を12品目に拡大
アイソレーションガウン、プラスチックエプロン等 △13百万円見込

※数値は対前年度購入ベース

(2) 経費の縮減

○ 委託業務の見直し

・平成16年度から清掃業務について、複数年(3年)契約



・平成17年度・・・給食業務について、複数年(4年)契約



・平成21年度・・・建物管理業務、洗濯業務について集約化
エレベーター保守等について、本課による
一括契約

エレベーター保守、消防設備保守、電気工作物保守

△10百万円

(3) 医療機器購入費の縮減

○ 事前・事後評価の実施

- ・平成18年度から1件3000万円以上の高額医療機器について事前評価を実施(19年度に事後評価実施)



- ・平成19年度・・・1件1000万円以上に対象を拡大



- ・平成21年度・・・より競争性を高め安価に購入するため一般競争入札に当たり、複数機種選定を導入

3 平成22年度上半期の状況(収益)

(1) 平成22年度診療報酬改定

- 本体改定率 +1.55%
 - 医科 +1.74%(入院+3.03%・外来+0.31%)
 - 歯科 +2.09%
 - 調剤 +0.52%

(2) 県立病院における影響

- 各種加算、手術料等の増点になったものの影響
- 改定による新設事項の算定
急性期看護補助体制加算、感染防止対策加算、栄養サポートチーム加算、呼吸ケアチーム加算
- 従前からの項目の新規算定
医師事務作業補助体制加算、救急医療管理加算

(3) 上半期の医業収益の前年度比較

単位:百万円、%

	平成21年度	平成22年度	増減	増減率
延入院患者数	167,287	175,408	8,121	4.9%
延外来患者数	230,605	249,196	18,591	8.1%
計	397,892	424,604	26,712	6.7%
入院収益	9,604	10,486	881	9.2%
外来収益	4,177	4,422	245	5.9%
その他医業収益	181	187	6	3.5%
医業収益	13,962	15,095	1,133	8.1%